

うちなー健康経営宣言について

令和7年度第2回全国健康保険協会沖縄支部評議会
(令和7年10月27日)

うちなー健康経営宣言の全体図

①2040年に男女とも平均寿命日本一

②65歳未満死亡率の改善、③定期健診有所見率の改善

沖縄県内働き盛り世代：約80万人

うちなー健康経営宣言

沖縄県

沖縄労働局

沖縄県
医師会

協会けんぽ

沖縄産業保健
総合支援
センター

2021年3月に5者で「働き盛り世代の健康づくり」に関する協定を締結

5者が宣言事業所のサポートを行い、上記の目標達成を目指します！

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

うちなー健康経営宣言成立の経緯

ふたつの宣言

5者協定

沖縄労働局

ひやみかち
健康経営宣言

統合
協議

協会けんぽ

福寿うちなー
健康宣言

- 働き盛り世代に係る健康づくりの
推進に向けた包括協定締結
- ① 沖縄県
 - ② 沖縄労働局
 - ③ 沖縄県医師会
 - ④ 全国健康保険協会沖縄支部
 - ⑤ 沖縄産業保健総合支援センター

5 者
連携開始

うちなー健康経営宣言として統合

連携
拡大

3つの目標の設定（各機関の目標との連携）

（沖縄県）2040年までに男女とも平均寿命全国1位

- 
- ・昭和60年（1985）男女共全国1位から
令和2年（2020）男性43位、女性16位へ下降

（県医師会）働き盛り世代の年齢調整死亡率の改善

- 
- ・20歳～64歳の年齢調整死亡率（男性ワースト2位・女性ワースト3位）
※ターゲット疾患は高血圧

（労働局）有所見率の改善（労働安全衛生法第66条に基づく定期健康診断）

- ・12年連続全国ワースト1（全国平均との差は拡大傾向）

※検証指標として協会けんぽ特定健診データを活用

うちなー健康経営宣言 認定済事業場数（令和7年3月31日現在）

全体集計

<協会けんぽ沖縄支部>
1,924事業場

94.45%

令和4年度	加入者数	特定健診（40歳以上）		
		対象者	受診者	受診率
被保険者	85,124	54,741	44,521	81.3%
被扶養者	61,937	14,010	3,971	28.3%
合 計	147,061	68,751	48,492	70.5%

<全体>
2,037事業場

<協会けんぽ沖縄支部以外>
113事業場
5.55%

<健康保険組合>
62事業場

<国保>
29事業場

<共済組合>
7事業場

<協会けんぽ他支部>
15事業場

- ※1. うちなー健康経営宣言は社会保険適用単位だけでなく営業所単位での登録も可能なため、**全体集計では事業場**と表記
- ※2. 加入医療保険を問わない全国でも稀な宣言
- ※3. 効果検証は協会けんぽの特定健診データで実施

宣言事業所数の推移

協会けんぽのみ



- ▶ 令和3年度からの伸び率は408%で**全国支部中1位**伸び率400%台は当支部のみ
- ▶ 300%台は1支部、200%台は7支部
- ▶ 県の建設工事入札参加資格等級格付審査で加点されたことが急増の最大要因

連携の分類

(1) 5者機関

(働き盛り世代に係る健康づくりの推進に向けた包括協定)

- ①沖縄県 ②沖縄労働局 ③沖縄県医師会
- ④全国健康保険協会沖縄支部 ⑤沖縄産業保健総合支援センター

(2) 推進団体

(「「うちなー健康経営推進団体宣言」として制度化)

商工会、商工会議所、法人会、同業者組合、労働基準協会等の35団体

(3) 連携機関

(5者事業を効果的に実施するために事業ごとに協力)

- ①沖縄県薬剤師会 ②新聞社 ③銀行 ④事業主 ⑤大学
- ⑥公益財団法人 ⑦保健所 ⑧市町村等

うちなー健康経営推進団体一覧

No.	登録団体名
1	読谷村商工会
2	北那覇法人会
3	那覇商工会議所
4	北谷町商工会
5	沖縄商工会議所
6	浦添商工会議所
7	豊見城市商工会
8	宮古島商工会議所
9	うるま市商工会
10	沖縄県商工会連合会
11	南城市商工会
12	宮古島市伊良部商工会
13	宜野湾市商工会
14	西原町商工会
15	嘉手納町商工会

No.	登録団体名
16	北中城村商工会
17	中城村商工会
18	沖縄県パチンコ・スロット協同組合
19	沖縄県法人会連合会
20	那覇法人会
21	沖縄県工業連合会
22	八重瀬町商工会
23	金武町商工会
24	中城村観光協会
25	恩納村商工会
26	沖縄宮古法人会
27	与那原町商工会
28	石垣市商工会
29	糸満市商工会
30	沖縄北部法人会

No.	登録団体名
31	久米島商工会
32	南風原町商工会
33	沖縄中部法人会
34	今帰仁村商工会
35	沖縄県労働基準協会

・商工会議所
全4団体が登録

・商工会
35団体のうち18団体が
登録済（連合会含む）

令和7年8月末現在

うちなー健康経営推進団体（連合会との連携）

沖縄県商工会議所連合会



「うちなー健康企業会」

健康経営優良法人を目指す取り組み

令和3年6月より、当支部、連合会、生保会社と連携して開始。会員事業所は現在、**118社**。

健康経営優良法人は、うちなー健康経営宣言事業所の中でも健診受診率、特定保健指導実施率が高く、更に健康に関する様々な取り組みを行なう必要があることから認定事業所の増加を目指して育成している。

うちなー健康経営宣言発足の令和3年度から令和6年度の沖縄県の優良法人認定事業所の増加率は、**全国3位**。

沖縄県商工会連合会

県内全34商工会の取り組みの統一化、共同化を目指す

商工会は、会の数が多く、主に町村部に点在し、会の規模が小さく単独で支援に取り組むのは困難であることから連合会を中心とし、地域の商工会に情報伝達していただき取り組み内容の統一化や共同化を図りたい。

共同化としては、中部地区の8商工会で構成する**中部地区商工会連合会**と共催で「**健康経営セミナー**」を実施した。

健康経営シンポジウム共催と事後の全面記事掲載

健康経営シンポジウム

6月と11月の年2回当該新聞社のホールで開催

内容

- ① **クガニ事業所(※) 認定証交付式**（優秀事業所）
- ② 専門家講話
- ③ 当支部事業報告
- ④ **クガニ事業所2社**による **パネルディスカッション**

※クガニ事業所
健診、特定保健指導、被扶養者健
診勧奨への同意等、基本的事項の
実施状況を評価し、認定

事後の全面記事掲載

上記①～④を全面記事で掲載

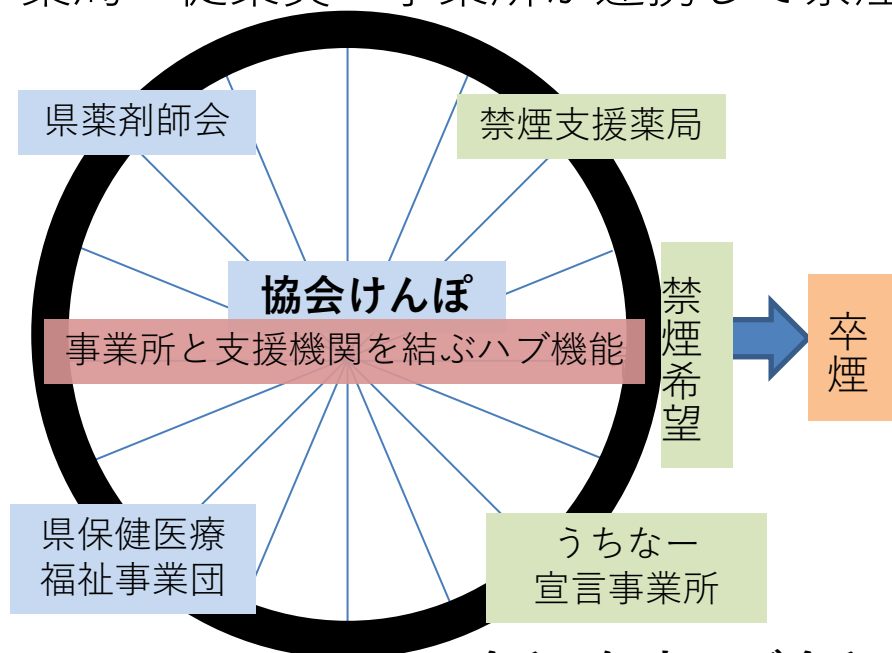
効果

- ① 新聞に **登壇者の写真や社名を大きく掲載**することによる事業所の **意欲の向上**
- ② 県内全域の事業所へ健康経営の普及啓発（**ポピュレーションアプローチ**）

連携機関との連携（県薬剤師会/県保健医療福祉事業団）

事業所で取り組む禁煙サポート事業

- ・禁煙する意思のある従業員を、事業所・禁煙支援薬局・協会けんぽがサポート
- ・**禁煙パッチ最初の4週間分の無償提供**と**禁煙サポート手帳**で県内31の禁煙支援薬局⇒従業員⇒事業所が連携して禁煙を進める8週間のプログラム



記者会見(令和6年度結果報告)

令和6年度及び令和5・6年度合計の結果

	参加事業所数	参加者数	卒煙者数	卒煙率
令和6年度	52社	166人	72人	43.4%
令和5・6年度合計	70社	235人	97人	41.3%

連携機関との連携（銀行）

巡回健康ロビー展（銀行での啓発）



生活習慣病やジェネリック医薬品に関するパネル展示
の他、栄養指導用食品モデルや脂肪模型等を展示



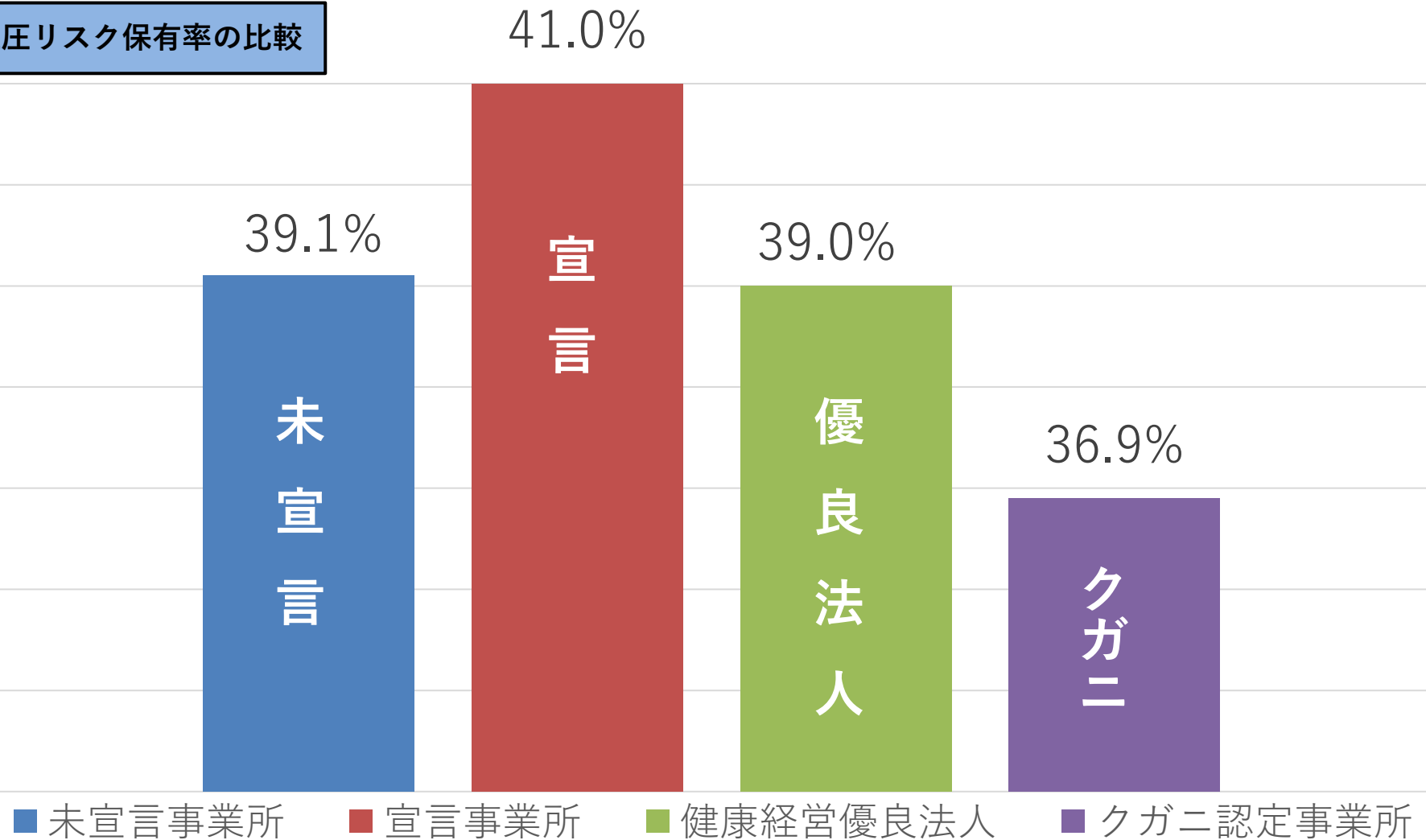
血圧計設置と沖縄県医師会作成の血圧
手帳の無料配布

< 沖縄銀行ロビー展の状況 >

- 新都心・崇元寺支店：令和5年8月23日～令和5年9月6日
- 大謝名店支店：令和6年6月4日～令和6年6月7日
- 坂田支店：令和6年8月14日～令和6年9月6日
- 南風原支店：令和7年1月17日～令和7年2月4日
- 糸満支店：令和7年7月17日～令和7年8月6日
- 我如古支店：令和7年8月13日～令和7年9月3日

未宣言・宣言・健康経営優良法人・クガニ事業所の比較

血圧リスク保有率の比較

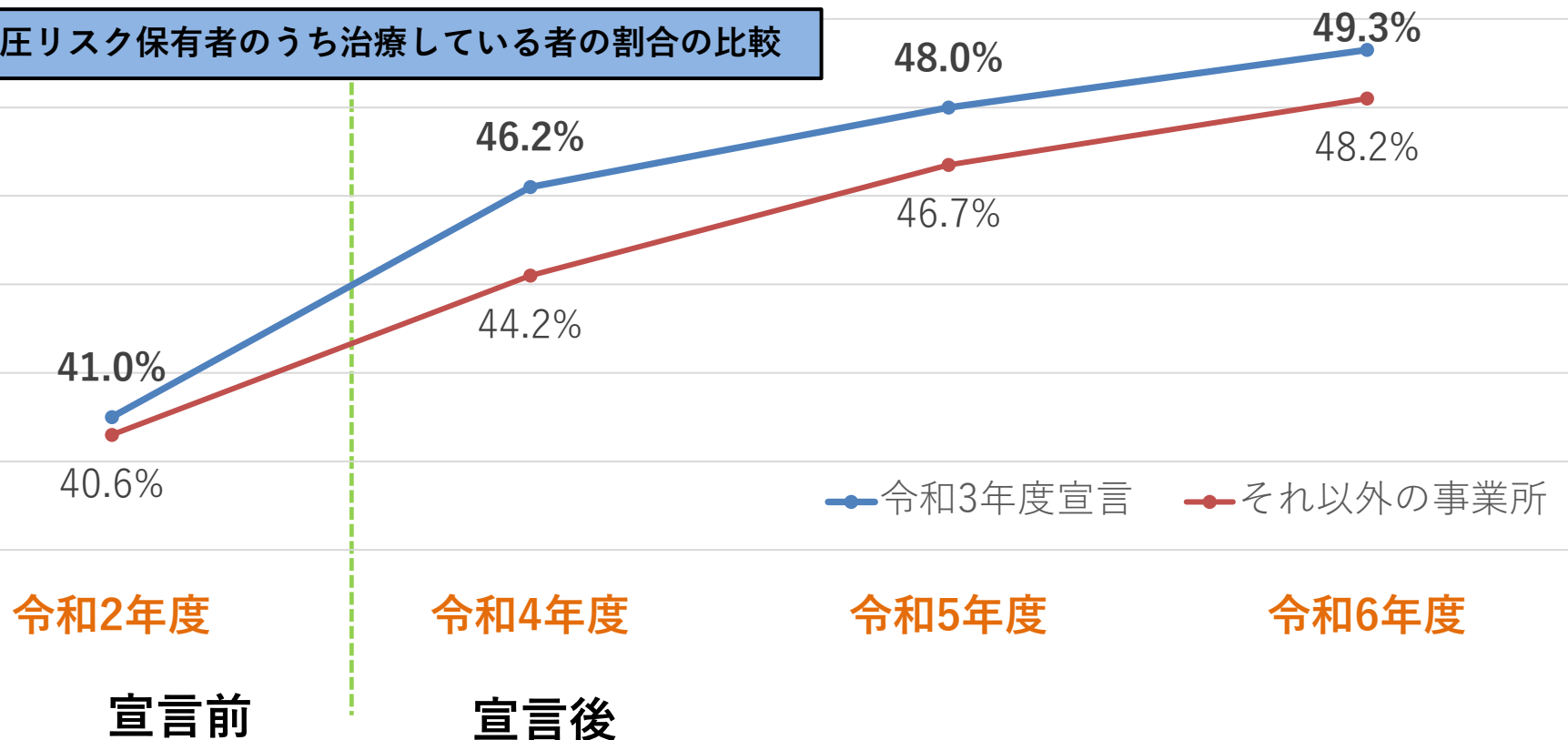


血圧リスク: ◆収縮期血圧が130mmHg以上、または拡張期血圧が85mmHg以上

令和3年度宣言事業所とそれ以外の当支部加入事業所の比較

「令和2年度から令和6年度のすべての年度健診を受診し血圧リスクがある者」のうち「治療している者」の割合を「宣言事業開始初年度の令和3年度に宣言した事業所」と「それ以外の当支部加入事業所」を比較

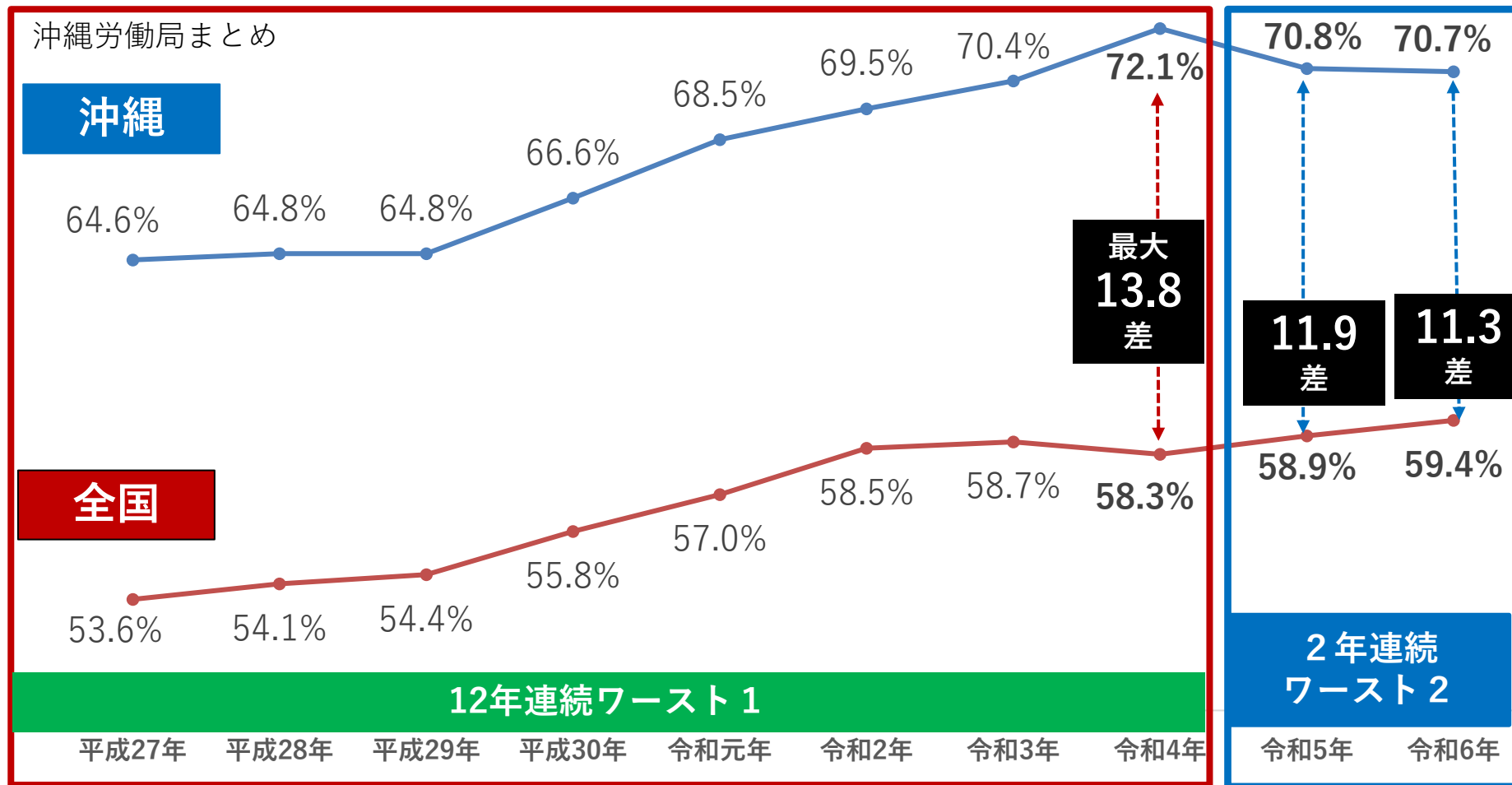
血圧リスク保有者のうち治療している者の割合の比較



■ 血圧リスクあり: 収縮期血圧が130mmHg以上、または拡張期血圧が85mmHg以上
■ 治療: 服薬あり

職場における定期健康診断（有所見率）

- ・ 12年連続全国ワーストを2年連続脱却！（ワースト1 → ワースト2）
- ・ 全国との差も2年連続縮小！（13.8 → 11.9 → 11.3）



有所見率・・・定期健康診断を受診した労働者のうち健康診断の項目に何らかの所見がある者の割合

まとめ

私たちの思いが「コラム」で紹介されました



地域における健康づくり
支援体制構築に向けて

取組のヒントと事例

沖縄県 5者協定という強固な連携関係による健康経営推進

Column

5者協定を通じて ～「ユイマール」を合言葉に～

全国健康保険協会 沖縄支部 企画総務部
玉城 雅人

コロナ禍の間、特定保健指導が困難となったことから、当支部で保健師を県内保健所に派遣する支援を行いました。まずはコロナ対応をすることが加入者のためであり、保険者の枠を越えて取り組む必要があると考えたためです。この経験から、県や県医師会にも呼びかけて実現したのが5者協定です。各機関が目標を共有し、協働で具体的に取り組み効果を挙げることを目的としています。例えば、高血圧対策として、連名での受診勧奨文書、県医師会医師と当支部保健師の同行事業所訪問等、課題に対し可能な対応方法を検討し、協働するという手法です。

5者を核に、健康宣言事業の中で様々な連携が生まれています。例えば、「ささえる力」として推進団体制度があり、商工会、会議所、法人会、同業者組合等30以上の団体の協力を得ています。また、県薬剤師会と連携し、県内31薬局での禁煙サポート等、それぞれ具体的な効果を挙げています。その他、市町村と商工会の連携も広がり始めています。

当県には、皆で助け合うという意味の「ユイマール」という言葉があります。この言葉通り、5者を中心に連携を深化させ、県全体の健康づくりにより一層取り組んでいきたいと考えています。